

安全に避難するコツ8カ条

避難勧告が出たときはもちろんですが、津波や山崩れ、家屋の倒壊や火災による延焼などの危険があるときは、直ちに安全な場所へ避難しなければなりません。

避難するときは、ブロック塀などの倒壊や、屋根瓦などの落下に注意して下さい。
あらかじめ、避難コースを下見し、危険箇所をチェックしておくといいでしょう。

こんなときは急いで避難を！

①市町村、警察、消防などから指示があったとき



②津波や山崩れ、土砂崩れなどのおそれがあるとき



③建物が倒壊するおそれがあるとき



④近所で火災が発生し、延焼の危険があるとき



⑤自宅で火災が発生し、天井まで火が燃え広がったとき



⑥危険物が爆発するおそれがあるとき



安全に避難するコツ8カ条

- 1 避難する前に、もう一度火元の点検をする。

- 2 避難先や安否情報を書いた連絡メモを残す。

- 3 安全な服を着る。頭や手足の保護も忘れずに。

- 4 荷物は必要最小限にとどめる。
懐中電灯、携帯ラジオ、非常食・水
タオル、筆記用具、貴重品（現金、通帳等）

- 5 車は使わず、歩いて避難する。

- 6 お年寄りや子どもは、手をしっかり握る。

- 7 塀ぎわや狭い道、がけ、川のそばは、できるだけ避ける。

- 8 できるだけ、指定された避難場所に避難する。

